令和3年度以降の 新宿区シルバー人材センター 経営方針

公益社団法人 新宿区シルバー人材センター

令和3年度以降の新宿区シルバー人材センター 経営方針

策定の背景

新宿区シルバー人材センター(以下「当センター」という。)では、これまで第 1 次~第 4 次に渡り、3 年度ごとに経営の基本方針と計画目標を記載した「経営計画」を策定し、それを基準として事業運営を推進し、高齢者の就業を通じて活力ある地域社会作りを目指してきた。

しかし、令和2年3月頃から新型コロナウイルス感染症(以下、『コロナ感染症』という)の流行拡大に伴う国の「緊急事態宣言」発出により、受注額が大幅に減少した。令和2年6月以降、実績は少しずつ回復しつつあるが、現状は昨年度の数値までは戻っていない。コロナ感染症の患者数も令和2年11月頃から急速な増加に転じたが、2度目の「緊急事態宣言」を経て、減少傾向が見られるものの、終息するめどは立っていない。そのため疲弊した社会経済が元の状態まで回復する時期を見込める状況にはなく、当センターの実績回帰の時期も見込むことは難しい。

このような中で、令和3年度から向こう3年間に渡る当センターの就業率、 受注件数、契約額等を年々高めていく計画値を設定することは、現実的には 困難である。

策定の内容

現状を踏まえると、当面は第 5 次となる「経営計画」を作ることではなく、 当センターにとって一番大切な「原点」に立ち返ることこそが求められている。

そこで、最も重要な「会員の安全・安心」を第一とし、コロナ感染症の対策に取り組みながら、危機管理を重視した運営を推進していくために、以下の6項目を柱とする「経営方針」としてまとめることとした。

- 1 会員の健康と安全の確保
- 2 会員の輪を拡げるための新たな入会手続きの導入
- 3 会員同士の新たな交流支援

- 4 会員の安全を守るための機動的で柔軟な危機管理体制づくり
- 5 会員を支援する事務局体制の強化
- 6 現経営計画の計画値の踏襲

各項目の施策

(※概要については、別紙施策一覧を参照のこと。下線部は新たな取組み)

1 会員の健康と安全の確保

会員の心身の健康を維持し、安全で安心感のある就業を提供していくことにより、コロナ感染症の流行渦中においても、当センターが安定して持続的な運営がなされるよう、以下(1)、(2)の取組により、健康意識の向上や、就業中の事故防止、インターネットの活用等の施策を検討、推進していく。

(1) コロナ感染症対策の徹底

施策:・「新しい生活様式」の徹底推進

- 就業報告書の郵送の徹底推進
- ・相談医(産業医)の設置による健康意識の向上推進
- (2) 就業の安全性確保・向上等(※1)

施策:・安全大会等の安全教育の充実

- ・安全意識の啓発・普及推進
- ・安全チェックリストの配布
- ・会員意識調査の実施
- 自転車ヘルメット購入助成推進
- ・自転車保険の加入促進
- 就業契約に安全条項の追加推進
- 受注一覧表のホームページ更新
- ・<u>会員の就業状況の把握と対応検討</u> (発注者評価システム導入、産業医アドバイス等)
- ・フレイル診断の検討・実施
- 専任の安全適正パトロール員制度の導入(※2)
- 自主事業の一部オンライン化検討
- ・スマートフォン教室の実施・オンライン教室の検討

(※1)これまでの安全施策では、会員一人ひとりが自ら健康維持に努め、安全就業基準を遵守して安全就業に取り組めるよう、安全大会の実施や安全就業標語などの周知活動を中心に取り組んできました。

しかし、ここ3年のシルバー保険適用事故件数をみると、平成 30年度が18件、平成31年度が21件、令和2年度2月末までで15件と残念ながら減少傾向がみられていません。事故ゼロを目標として、1件でも事故発生を防げるよう、新たな安全施策が必要と考えました。

(※2)安全就業パトロールは、今まで安全委員会委員が年間50件ほど実施していましたが、専任の安全就業パトロール員を配置してパトロール回数を年間100件程度に増やし、就業環境の確認や会員に対する安全・健康の推進を強化します。就業会員一人一人の安全意識を高めることで、事故発生件数を継続的に低減してゆく取組とします。

2 会員の輪を拡げるための新たな入会手続きの導入

シルバー人材センターの会員登録について、より身近で親しみやすい制度とするため、また、コロナ感染症への感染防止を図るため、入会手続きの全てを入会説明会の会場に直接出向いていただいて行う従前の方法に加え、入会手続の一部について、インターネットを利用して行う方法を令和2年11月から導入した。

今後も安全・安心を前提として、以下(1)の取組により、新たな会員をより一層多く獲得していく。

(1) コロナ感染症を考慮した入会方法の改善等

施策:・ネット入会の推進

新しいホームページ内の動画活用による

イメージアップ実施

・2段階入会システムの検討・導入

(お試し入会による入会促進)

3 会員同士の新たな交流支援

就業を安定的に継続していくうえで、会員自身の健康管理とともに、会員同士のつながりを強化することが大切である。しかし、コロナ感染症の終息が見通せない中、感染防止の観点から、会員同士の直接的な交流が困難な状況である。

そこでコロナ感染症の影響を考慮しながら、従前からの地域班活動に加えて以下(1)~(3)の取組により、会員同士が気軽に情報共有できる取組や、会員の定着と交流の継続を促進する制度の検討・導入を進める。

(1)情報共有の仕組みづくり

施策:・会員用専用ページの構築検討・導入

・会員用施設内 Wi-Fi の整備検討

(2)連絡体制の整備

施策:・会員同士の連絡体制の整備検討

・職群班の交流推進

(3) 高齢化対応、交流イベントの実施

施策:・プレミアム会員制度の検討・導入

健康体操、体力測定等の検討・実施(※3)

(※3)健康事業については、健康診断受診の推奨や健康講習会の開催だけではなく、会員一人ひとりが自ら健康・体力を管理・認識してもらうため、安全健康チェックの導入や体力測定、相談医による診察を無料で受けられる健康相談会を実施します。発注者が就業会員への年齢的な健康不安を取り除くことへも貢献できる取組みとします。

4 会員の安全を守るための機動的で柔軟な危機管理体制づくり

コロナ感染症に留意しながらも今後起こりうる様々なリスクに適切に対応し会員の安全を守り、当センターを着実に運営していくため、以下(1)~(3)の取組により、効率的・機動的な体制を整備していくとともに、緊急時に会長をサポートする仕組みを整えていく。

(1) 委員会の機動的な体制整備等

施策:・機動的な委員会の体制検討

・ 広報委員会と事業委員会の役割分担検討

・自主事業活動の新たなルール作り検討

(2) 緊急連絡体制の整備等

施策:・メール配信システムの検討・導入

会員の緊急連絡先:一定期間毎の更新推進

(3) 緊急事態発生時における会長のサポート体制の検討

施策:・コロナ感染症の拡大、特別警戒情報発令、

大規模地震発生等を想定した体制整備の構築検討

5 会員を支援する事務局体制の強化

以下(1)、(2)の取組により、当センターの運営と会員の就労を下支えする組織である事務局の基盤強化を図っていく。また、事務処理の効率化や事務局職員のより持続的な就労を推進していく。

(1)事務局運営の効率化等

施策:・タブレット端末の就業現場活用検討

- 事務局内の Wi-Fi(イントラネットの無線ラン化)導入検討
- ・ネット受注システムの検討・導入
- ・デジタル技術能力の育成推進検討
- (2)持続的、安定的な職員体制構築

施策:・プロパー職員定年後、継続雇用職員への円滑な移行推進

6 現経営計画の計画値の踏襲

策定の背景のとおり、向こう3年間の新たな計画値を策定せず、当面の間は現経営計画の最終年度(2020年度)の計画値達成を目指すこととする。

第四次経営計画 目標

指標	第四次経営計画:2020年度
会員数	1, 740名
年間就業率	8 2 %
年間受託件数	14,600件
年間契約金額	7 6 0 百万円



シルバー人材 センターのイメージキャラクター 「シルバーくん」

令和3年度以降の新宿区シルバー人材センター 経営方針

令和3年(2021年)3月発行

公益社団法人 新宿区シルバー人材センター